

高等学校における生徒が主体的に英語を読む態度を育てる授業改善に関する研究
 - 生徒の読解ストラテジーを探ることを通して -

広島市立安佐北高等学校教諭 佐々木 康樹

問題の所在

『高等学校学習指導要領解説 外国語編英語編』(平成11年12月)では英語を「読むこと」の言語活動を「英語を読んで、情報や書き手の意向などを理解したり概要や要点をとらえたりする」と記しており、「リーディング」ではこの能力を更に伸ばすことを目標としている。つまり「読むこと」とは、単に英語を日本語に置き換える(以下「訳す」という)だけでなく内容を理解することである。

これまで主体的に英語を読む態度を育てようとして取り組んできたつもりであるが、多くの生徒は訳せさえすればそれで満足し、訳せなければすぐにあきらめて日本語訳を求める傾向があり、真に「読むこと」を充足させる指導となっているとは言い難い。

さらに先の解説書には「理解が困難なときでも途中で投げ出さずに、背景的な知識や文脈から意味を推測して読もうとする」ことが読むことに主体的に取り組む態度のひとつとして記されている。このことから、内容理解に迫るために背景的な知識や文脈などを手がかりとして英文の意味を推測して読もうとすることが主体的に英語を読むために必要な基本的な態度であると考えられる。

そこで、本研究では、生徒が主体的に英語を読む態度を育てるための指導改善の視点を得るために、生徒が実際に英文を読む過程においてどのように内容理解に迫ろうとしているのかという実態を探ることとした。

研究の方法

英文読解において、生徒がどのように内容理解に迫ろうとしているのかを探るための調査問題を作成、

実施し、分析することによって、内容理解に迫る過程を探る。

研究の内容

1 主体的に英語を読む態度と読解ストラテジー

主体的に英語を読むためには、英文に内在する手がかりを探ると同時に、新たな手がかりを求め、これらを有効に関連付けながら内容を推測することが重要である。このように内容理解に迫るために読み手がとる方略を「読解ストラテジー」と呼び、そのストラテジーには次のような種類がある。

- ア) 語彙・文法・タイトル・イラスト・写真・読み手の背景知識等を活用し、内容を予測したり、内容理解にとって重要な語の意味を推測したりする
- イ) 意味のまとまりで理解する
- ウ) テキストの結束性を探る(指示代名詞の意味・接続詞の機能性を正確にとらえる)
- エ) 段落の構造を知り、段落の主題を理解する(重要語句を整理する・段落の要約)
- オ) 理解をモニターする(段落の最後において初めに予測した要旨が矛盾していないか確認する)
- カ) 理解を深め、情報を統合する。(全体要約)
- キ) テキスト内容について自分の意見をもつ。

英語を主体的に読むためにはこの読解ストラテジーをいかに活用するかが重要な要素になる。

2 実態調査の作成と実施

基礎的研究を基に、広島市立A高等学校第1学年B組の生徒36名を対象に、生徒はどのような読解ストラテジーを活用し、内容理解に迫ろうとしているかを探ることとした。調査問題の設問構成に当たっては、生徒が最も活用しやすいと思われるストラテジー(ア)の中で、手がかりにしやすいと思われる語彙、タイトル、イラストに焦点を当てた(表1)。

表1 設問構成表

分析の視点	質問のねらい	設問
読みの初期段階においてどのような読み方をしているか	タイトルをどのように読みとったかを探る	1
	問題文に対してどのような印象を持ったかを把握する	2
	どのような読み方をしているかを探る	3
どのように内容理解をしているか	どのように内容理解をしているかを探る	4
	問題文中の単語の知識を把握する	5
	タイトルの修正からどのような内容理解に至ったかを探る	1.0
本文に内在する手がかりをどのように活用しているか	1. タイトルをどのように活用しているかを探る	6
	2. イラストをどのように活用しているかを探る	7
	3. 単語をどのように活用しているかを探る	5.6.7. 以外
	4. 教師から与えられた手がかりを上記の手がかりとどのように関連づけているかを探る	9

「1」「2」「3」「4」を活用して未知語をどのように推測しているかを探る (2)

本文に内在する手がかりをどのように活用しているかは、内容理解に迫るための新たな手がかりを自ら求めているか」という視点を含む。

題材については、語彙や文法の難易度や、生徒が

英文を読むことに関する調査

設問 1 これから次のタイトルで書かれた英文を読んでいきます。まず、タイトルを日本語に直し、枠内に書いてください。たぶんこうかなと思うことでもいいし、単語の意味だけでもかまいません。自分なりに感じることを書いてください。

“Kendo Saved HisLife ”

指示があるまで次のページを開かないでください

これから3分間、次の英文を読んでみてください。

“Kendo SavedHisLife ”

Kendo is an old sport in Japan, and it is becoming popular in the United States. There is a man in Denver, Colorado, who recovered from an illness with the help of kendo. Charles Wilcox had a stroke at the age of thirty-two. When he was taken to a hospital, only his eyes and ears were working. Denver: 「デンバー」米国コロラド州の州都 (『Step English [Revised Edition]』Obunsha より抜粋)

指示があるまで次のページを開かないでください

設問 2 英文を見た最初の印象はどうでしたか。当てはまる番号に をつけてください。

1. 比較的読めそう
2. なんとか読めそう
3. あまり読めそうにない
4. まったく読めそうにない

なぜそう思いましたか。当てはまる番号すべてに をつけてください。

1. 知っている単語が割と多そうだから
2. わからない単語が多そうだから
3. 全体的にそれほど長い文とは思わないから
4. 全体的に文が長いから
5. コンマが多くて複雑そうだから
6. イラストがあるから
7. タイトルがあるから
8. その他 ()

設問 3 読み始めて「終わりです」と合図があるまで、どんな読み方をしましたか。「そういえば・・・だったなあ」と思い当たる番号すべてに をつけてください。

1. 初めから一字一句全ての単語を順番に読んだなあ
2. 意味のわかる単語を探しながら読んだなあ
3. 一応最後まででは読んだなあ
4. 2回以上読んだなあ
5. 文の順序など気にせずわかりそうなところをあちこち探しながら読んだなあ
6. 意味のわからない単語が出る度に立ち止まってその単語の意味を考えたなあ
7. タイトルの意味が気になりながら読んだなあ
8. イラストを見ながら読んだなあ
9. ある単語の意味がずっと気になりながら読んだなあ
10. イラストばかりながめていたなあ
11. 難しそうと思って読む前からあきらめてしまったなあ
12. その他 ()

設問3まで終わった人は次へ進んでください。

設問 4 英文を訳して、各文の下の枠内に書いてください。書くときには、部分的に書けるところだけでもいいし、たぶんこうかなと思うことでもいいし、単語の意味だけでもかまいません。自分なりに感じることを書いてください。

Kendo is an old sport in Japan, and it is becoming popular in the United States.

There is a man in Denver, Colorado, who recovered from an illness with the help of kendo.

Charles Wilcox had a stroke at the age of thirty-two.

When he was taken to a hospital, only his eyes and ears were working.

図1 英文を読むことに関する調査

最後まで問題に集中できる時間などを考慮し、題材の導入部分である四つの文に絞って図1のような調査問題を作成した。

設問 5 意味がよくわからなかったすべての単語に をつけてください。なお、 は上の本文内の単語に直接つけてください。設問5まで終わった人は次へ進んでください。

設問 6 英文を読むときにタイトルは役に立ちましたか。当てはまる番号に をつけてください。

1. 役に立った
2. 少し役に立った
3. あまり役に立たなかった
4. 役に立たなかった

「1」「2」と答えた人にお聞きします。タイトルはどういうことに役に立ちましたか。当てはまる番号すべてに をつけてください。

1. 本文を読む前に話の内容を想像することに役立った
2. 読みながら話の内容を自分なりに考えることに役立った
3. 一文一文を訳すのに役立った
4. わからない単語の意味を予想することに役立った
5. 読み終えた後で話の内容を確認することに役立った
6. その他 ()

設問 7 英文を読むときにイラストは役に立ちましたか。当てはまる番号に をつけてください。

1. 役に立った
2. 少し役に立った
3. あまり役に立たなかった
4. 役に立たなかった

「1」「2」と答えた人にお聞きします。イラストはどういうことに役に立ちましたか。当てはまる番号すべてに をつけてください。

1. 本文を読む前に話の内容を想像することに役立った
2. 読みながら話の内容を自分なりに考えることに役立った
3. 一文一文を訳すことに役立った
4. わからない単語の意味を予想することに役立った
5. 知っている単語や自分なりに訳した文の意味をあらためて確認することに役立った
6. その他 ()

設問 8 次の(1)(2)について、当てはまる番号に をつけてください。具体的に書くところは答えが重複してもかまいません。

(1) 5 ページで をした単語の中で、「この単語の意味さえわかればこの一文の意味がだいたいわかるんだけどなあ」と思って読んだ単語がありましたか。

1. ある
2. ない

「1」と答えた人にお聞きします。その単語はどれですか。() 内にすべて書き出してください。

(2) 読んでいる途中で、「この単語はたぶんこんな意味なんじゃないかな」と思いながら読んだ単語がありましたか。

(その単語の意味が「設問4」の訳に書けていないかまかまいません)

1. ある
2. ない

「1」と答えた人にお聞きします。その単語を3つまで表に書いてください。(多くても3つまで) 予想した意味を書いてください。「こんな感じの意味」というような書き方でかまいません。何からその意味を予想しましたか。記入例を参考に、あるだけ全部書いてください。(記入例) タイトルから、イラストから、～などの単語から、全体の雰囲気から、・・・など

予想した単語	単語の意味	何からその意味を予想したか

設問 9 次の単語は本文中に出ている単語とその意味です。あらためて本文を読み返したとき、この単語が何かに役に立ちましたか。当てはまる番号に をつけてください。注意 設問4の和訳を書きかえしないでください。

stroke: 脳卒中

1. 役に立った
2. 役に立たなかった

「1」と答えた人にお聞きします。この単語がどう役に立ちましたか。枠内に自由に書いてください。

設問 10 「設問 1」で書いたタイトルの意味を変えようと思う人は枠内に書いてください。

3 調査結果の分析と考察

表2は、題材とした英文の印象とその理由を尋ねた結果をまとめたものである。

表2 英文の印象とその理由(表内の数字は人数)

英文の印象		なぜそう思ったか	
比較的読めそう 1 なんとか読めそう 17		知っている単語が多そう	14
		それほど長い文とは思わない	13
		イラストがある	3
		タイトルがある	1
あまり読めそうにない 17 全く読めそうにない 2		わからない単語が多そう	19
		文が長いから	6
		コマが多くて複雑そう	5
		タイトルがあるから	1

N = 36 (複数回答)

知っている単語の数によって「読めそう」「読めそうにない」と判断している生徒は33名で、生徒にとって読むうえで知っている単語が重要な手がかりとなっていることがわかる。一方、イラストやタイトルを「読めそう」の理由にしている生徒は、イラストが3名、タイトルが1名で、これらを手がかりとして英文を読もうとしている生徒は少ない。

表3は、はじめの3分間でどのような読み方をしたのかを尋ねた結果をまとめたものである。

表3 はじめの3分間でどう読んだのか

		どう読んだのか	人数
読み方		初めから一字一句全ての単語を順番に読んだ	13
		文の順序など気にせずわかりそうなところを探しながら読んだ	8
		一応最後まで読んだ	26
		2回以上読んだ	16
手がかり	単語	難しそうと思って読前からあきらめてしまった	1
		意味のわからない単語が出る度に立ち止まってその単語の意味を考えた	15
		意味のわかる単語を探しながら読んだ	14
	タイトル	ある単語の意味がずっと気になりながら読んだ	6
		タイトルの意味が気になりながら読んだ	12
		イラストを見ながら読んだ	8
イラスト	イラストばかりながめていた	1	
	その他	1	

N = 36 (複数回答)

生徒はいろいろな読み方をしていると同時に「意味のわかる単語を探しながら読んだ」が14名、「タイトルの意味が気になりながら読んだ」が12名、「イラストを見ながら読んだ」や「イラストばかりながめていた」が9名であることから、読む際には、知っている単語のみならず、イラストやタイトルも意識しており、英文の印象の理由と実際の読む活動は必ずしも一致していないことがうかがえる。さらに、「意味のわからない単語が出る度に立ち止まってその単語の意味を考えた」が15名、「ある単語の意味がずっと気になりながら読んだ」が6名など、単語の

意味を推測しようとしていることもうかがえる。

次に、タイトルやイラスト、単語が内容理解に迫るうえでどのように役立ったかについて分析する。

(1) タイトル

表4は、タイトルが手がかりとして実際に役に立ったかどうかを尋ねた結果をまとめたものである。

表4 タイトルの意味が気になりながら読んだ×タイトルが役に立ったか(表内の数字は人数)

タイトルを意識した	タイトルが役に立ったか	役に立った	役に立たなかった
タイトルの意味が気になりながら読んだという意識がある	12	9	27
意識しなかった	24	7	5
		2	22

N = 36

タイトルを意識した12名のうち7名、意識しなかった24名のうち2名、計9名が読むうえでタイトルが役に立ったと答えており、手がかりとして自分なりに活用できたという実感をもっている。一方、タイトルを気にしながらも5名の生徒は手がかりとして活用するに至っていない。

表5は、タイトルが具体的にどのように役に立ったのかを上記の9名を対象に分析したものである。

表5 タイトルがどう役に立ったのか×タイトルの意味が気になりながら読んだ(表内の数字は人数)

タイトルを意識した	タイトルが役に立ったか	役に立った	役に立たなかった
本文を読む前に話の内容を想像する	7	9	2
読みながら話の内容を自分なりに考える	2	0	2
一文一文を訳す	0	4	0
わからない単語の意味を予想する	4	1	1
読み終わった後で話の内容を確認する	0	0	0

N = 9 (複数回答)

9名全員が を選択していること、また を誰も選択していないことから、生徒は一文一文を訳すためではなく、話の内容を想像するためにタイトルを活用していると言える。また、タイトルを意識しなかった2名の生徒は、本文を読む前に話の内容を想像し、その後、タイトルに立ち返って内容を考えたのではないと思われる。

(2) イラスト

表6は、イラストが手がかりとして実際に役に立ったかどうかを尋ねた結果をまとめたものである。

表6 イラストを見ながら読んだ×イラストが役に立ったか(表内の数字は人数)

イラストを意識した	イラストが役に立ったか	役に立った	役に立たなかった
イラストの意味が気になりながら読んだという意識がある	9	9	27
意識しなかった	27	5	4
		4	23

N = 36

イラストを意識した9名のうち5名、意識しなかった27名のうち4名、計9名が読むうえでイラストが役に立ったと答えており、手がかりとして自分なりに活用できたという実感をもっている。一方、イラストを気にしながらも4名の生徒は手がかりとして活用するに至っていない。

表7は、イラストが具体的にどのように役に立ったのかを上記の9名を対象に分析したものである。

表7 イラストがどう役に立ったのか×イラストを見ながら読んだ
(表内の数字は人数)

イラストを意識した どう役立ったか	イラストの意味が気になりな がら読んだという意識がある	意識しな かった
本文を読む前に話の内容を想像する	2	2
読みながら話の内容を自分なりに考える	5	4
一文一文を訳す	0	0
わからない単語の意味を予想する	3	0
知っている単語や自分なりに訳した文の意味を改めて確認する	0	2

N = 9 (複数回答)

9名全員が を選択していること、また、 を誰も選択していないことから、生徒は一文一文を訳すためではなく、読みながら話の内容を自分なりに考えるためにイラストを活用していると言える。

以上のことから、生徒はイラストやタイトルを一文一文を訳すためではなく、主にタイトルは話の内容を想像するために、イラストは読みながら全体の概要をつかむために活用しており、目的が異なっていることがうかがえる。

(3) 単語

表8は「意味を知りたい単語があるかどうか」と英文の印象との関係をまとめたものである。

表8 意味を知りたい単語があるか×英文の印象

知りたい単語	英文の印象	読めそう(人数)	読めそうにない(人数)
意味を知りたい単語がある		11	4
意味を知りたい単語がない		5	15

N = 36 (無記入1)

意味を知りたい単語が「ある」と答えた生徒は36名中15名である。そのうち「読めそうにない」と答えた生徒は4名で、わからない単語の意味を知りたいという思いはあまりうかがえない。

表9は、多くの生徒が意味がわからないとしてあげた単語について、何人がその意味を知りたいと思ったかをまとめたものである。

表9 意味のわからない単語上位7つと意味を知りたい人数

単語	意味がわからない(人数)	意味を知りたい(人数)
recovered	34	7
illness	33	5
stroke	32	5
Wilcox	32	5
Charles	29	6
becoming	22	7
hospital	21	2

N = 36

わからないことが知りたい意欲に必ずしも結びついていないことがうかがえる。

次に、意味を知りたい単語があると答えた15名がどういう理由で知りたいと思っているのかを探るために、意味を知りたい具体的な単語を、日本語訳の状況との関連をみながら個別に分析すると、生徒Aのような傾向がみられた。下線部は生徒Aが意味のわからない単語としてあげたものである。

【生徒A】

Kendo is an old sport in Japan, and it is becoming popular in the United States.

日本の中では剣道は古いスポーツ アメリカで人気がある

There is a man in Denver, Colorado, who recovered from an illness with the help of kendo.

そこにはデンバーの男がいた だれ ~から 助ける 剣道

Charles Wilcox had a stroke at the age of thirty-two.

32

When he was taken to a hospital, only his eyes and ears were working.

いつ彼は ~だけ 彼の

生徒Aはわからない単語が全ての文にあるにもかかわらず、第1文の"becoming"だけを知りたがっている。全体の内容把握よりもまず最もよく訳せている文の訳を完成させようとしていると思われる。

生徒Aのように、わからない単語が各文に散在していても訳しかけている一文を完成するために必要な単語だけを求めている生徒は15名中8名いた。これらの生徒には自分がわかりそうな一文を訳すためにわからない単語の意味を知りたがっている傾向がみられる。

次に、教師が生徒にとって内容を把握するために重要と思い提示した"stroke"の意味が役に立ったと答えた生徒は13名であった。これらの生徒はどのように役に立ったかを次のように記述している。

全体の内容の把握に関する記述 (5名)

- ・チャールズがなぜ病院に行ったのかわかったから
- ・あのイラストを見て少し分かった。男の人が脳卒中で倒れて剣道ができなくなったという話じゃないですか。全部わかるわけじゃないけど少しだけわかった気がする
- ・身体が不自由だということ
- ・病気がってことがわかってそれから何となくわかってきた
- ・なんで病院に行ったかわかった

対象となっている文のみに関する記述 (8名)
<ul style="list-style-type: none">・だいたい文の意味がわかった・文の意味がひとつになった・少しはその文の意味がわかってくる・訳にあてはまっていたと思う・単語の意味がわからなかったから・少し意味が繋がった・ちょっとは意味がわかった・思っていたのと違っていたから

新たな手がかりを全体の内容を把握するために役立っていると思われる生徒がいる一方で、対象となっている文だけを訳したり、文意を把握することに役立ってたりしている生徒が多いことがうかがえる。

以下に示すものは、"stroke"の意味が役に立った生徒と役に立たなかった生徒それぞれの日本語訳の状況である。

【生徒B】

<i>Kendo is an old sport in Japan, and it is becoming popular in the United States.</i>
剣道は日本の古いスポーツです。そしてそれはアメリカにも人気があります
There is a man in Denver, Colorado, who <u>covered</u> from a(n) <u>illness</u> with the help of <u>kendo</u> .
それらはデンバーの男です。コロラド。剣道に助けをもらって
<i>Charles Wilcox had a <u>stroke</u> at the age of thirty-two.</i>
32才
When he was taken to a hospital, <u>only</u> his <u>eyes</u> and <u>ears</u> were <u>working</u> .
彼は病院へ持っていった。彼の目と耳

生徒Bは下線部全てを知りたい単語としてあげている。全体的にはよく訳せており、残る五つの単語の意味さえわかれば全文が訳せると思われるため、"stroke"の意味はこの生徒にとって内容を推測するために有効であったと思われるが、役に立たなかったと答えている。この生徒はよく訳せているものの、"stroke"を手がかりとして全体の内容を推測するには至っていないと思われる。

【生徒C】

<i>Kendo is an old sport in Japan, and it is becoming popular in the United States.</i>
剣道は日本の昔からあるスポーツ、そして
There is a man in <u>Denver</u> , Colorado, who <u>covered</u> from a(n) <u>illness</u> with the help of <u>kendo</u> .
男性 コロラド 剣道を助けてあげた。
<i>Charles Wilcox had a <u>stroke</u> at the age of <u>thirty-two</u>.</i>
わかりません。 2
When he was taken to a hospital, <u>only</u> his <u>eyes</u> and <u>ears</u> were <u>working</u> .
ただ一人の

生徒Cはわかる単語を手がかりになんとか訳そうとはしているが、わからない単語が多く、どの文もほとんど訳せていない。意味を知りたいと思う単語も最も訳せている第1文に限られている。したがって"stroke"の意味はこの生徒にとって内容を推測す

るうえでそれほど役に立つとは思われない。しかしこの生徒は次のように役立ったと記述している。

「あのイラストを見て少し分かった。男の人が脳卒中で倒れて剣道ができなくなったという話じゃないですか。全部わかるわけじゃないけど少しだけわかった気がする。」生徒Bは手がかりとなるものは少ないが、知り得た情報をできるだけ内容理解に迫るための手がかりとして活用することによって、英文の内容を自分なりに推測していたのではないかと考えられる。

このことから、内容理解に迫るためにはどれだけ単語の知識があり、どれだけ訳せるかだけでなく、どれだけ手がかりを活用し、内容を推測するかが重要な要素となると言える。

研究のまとめ

今回の調査から、さまざまな読み方をし、手がかりを見つけようとしているにもかかわらず、それらを内容理解に迫るためではなく、文を訳すために活用している生徒が多くみられた。しかし一方では、知り得たものを手がかりとして有効に関連付けながら話の内容を推測しようとしている姿もみられた。このような内容理解に迫ろうとしている生徒の活動を次のような視点をもって支援することによって、主体的に英語を読む態度を育てることができるのではないかと考える。

タイトル、イラストから内容を推測する場を設定し、内容への興味、関心を引き出す。

内容を推測するために、何が手がかりになるかを考える場を設定する。

手がかりをどう関連付けていけば内容理解に迫ることができるかを考える場を設定する。

内容の推測をより深めるために、何が新たな手がかりとなりうるかを考える場を設定する。

生徒の実態を顧みれば、読解ストラテジーとしてはまだ初歩的な段階だが、このような視点をもとに、今回焦点をあてた以外のストラテジーも視野に入れ、今後とも主体的に英語を読む態度を育てるための授業改善に努めていきたい。